

## 情報連絡員からの報告（要旨）

### 《製造業》

#### 食料品製造業

##### 1. <北海道 水産食品>

原料価格上昇に伴い年末商品の販売価格を若干引き上げたら、総売上高は微減となり収益も悪化。よって、景況も悪化している。

##### 2. <秋田県 精穀・製粉>

繁忙期にも関わらず、季節商品の小ロット化や低価格品への移行により、売上高は依然として低迷している。

##### 3. <宮城県 冷凍水産>

全体的に主要魚の水揚げ不振が魚価高騰で支えられている感があり、今後は豊漁による数量ならびに売上高の増加を期待したい。

##### 4. <山形県 麺類>

年間最大の繁忙期である年越し蕎麦を中心とした売上げが期待されたが、伸び悩んだ。消費者のニーズがすき焼き等の肉料理にシフトしており、特に業務用の麺類が厳しい。また収益面も燃料価格が上昇し、不安材料となっている。

##### 5. <茨城県 納豆>

個人消費の低迷が継続しており、低価格品が売れている。また円安による原材料等の輸入価格上昇から経営悪化も心配される。

##### 6. <三重県 醤油味噌>

円安に伴い食油の値上げ（2月～）の発表があり、他にも仕入原価の上昇を懸念。

##### 7. <兵庫県 食料品>

お節の需要が伸びない。また需要が伸びても人手不足で供給が出来ない。他方で宅配やコンビニ商品が売上げを伸ばしている。

##### 8. <鹿児島県 菓子>

クリスマスケーキの注文も節約志向からサイズが小さくなり、苺の価格も高騰していたが、売値に転嫁するのが難しいのが実情。また餅も注文は減少傾向にある。

##### 9. <沖縄県 豆腐・油揚げ>

例年ならば12月は鍋物需要で売上高が上昇する時期だが、今年は高温で低調となった。

#### 繊維・同製品製造業

##### 10. <山形県 織物製成人女子・少女服製造>

呉服は荷動きが悪く、小口の商いに終始している。輸出物はヨーロッパ向けが低迷。採算も百貨店の閉店が相次ぐ等、今後も一段と厳しくなる予想。

##### 11. <福島県 ニット>

部分的には好調でも全体としては低迷。百貨店の今期秋冬シーズンの売上げが悪く、来期の受注にも悪影響が懸念される。

##### 12. <東京都 縫製>

期待していた年末商戦もあてが外れ、ますます業況は厳しい状況である。

13. <新潟県 外衣製造>  
衣料品市場は百貨店、量販店ともに前年度より売上げが悪化し、厳しい受注環境である。
14. <富山県 絹人織織物>  
合織織物は円安による原糸価格の値上げが懸念される。絹織物も状況は悪い。
15. <愛知県 織物>  
先月と同様に非常に厳しい状態。ほとんど織機が動いていない。一昨年 of 過剰生産で在庫過多となり、生産調整が継続。先行き不透明である。
16. <和歌山県 その他の繊維製品>  
月後半に入り、若干の春夏物の追加発注はあったが前年比で半分程度減少。円安による輸入原材料の価格上昇も心配。消費低迷による販売価格の下落も憂慮している。

#### 木材・木製品製造業

17. <福島県 外材輸入>  
新設住宅着工数は高水準だが、急激な為替円安に伴い今後の輸入コスト上昇が心配である。
18. <群馬県 製材・木製品>  
商品の動きは良好だが、原料不足に加えて原料高、さらに人材不足の影響で設備操業度が低下。仕入価格の上昇を販売価格にも転嫁できていない。
19. <千葉県 製材>  
為替変動の影響で年明けから外材の値上げが見受けられる。
20. <静岡県 宗教用具>  
消費停滞から値崩れ傾向が出ている。依然として厳しい状況である。
21. <鳥取県 製材品>  
冬場は天候も悪く、住宅着工数が減少傾向になるために見通しが暗い。製材用素材の入荷量、製材品の出荷量ともに前月比で減少。プレカットの稼働率も落ち着き、住宅用需要の先行きが不透明になっている。
22. <宮崎県 製材>  
今月の実績も好調。原木価格が高値で推移しているが、価格転嫁が難しく、製品は売れても採算面では苦勞している。受注は1月以降落ち着くと考えていたが、受注分を消化出来ていないこともあり、引き続き忙しい状態となる。

#### 紙・紙加工品製造業

23. <愛知県 段ボール>  
ギフト関係は低調だが、土産物・工業系が堅調であり、シーズン物やイベント物もまずまず。
24. <岐阜県 機械すき和紙>  
年末商戦は概ね順調に推移した。2月以降の展示会や販促会等々の準備も始まっている。
25. <福井県 和紙工業>  
米国トランプ大統領の就任を1月に控え、世界経済が不安定化。円安傾向が持続すれば輸入原料（パルプ・原油等）の値上がりに結び付き、業界として痛手。また年末の需要期にも動きはなく、国内原料の確保難も継続している。
26. <京都府 紙製容器>  
例年に比べると年末受注の動きが遅い。12月に入り一気に受注が入った。
27. <大阪府 段ボール>  
出荷量は好調だが、燃料高騰によるコスト増や人手不足による長時間労働が出ている。

## 印刷

### 28. <長野県 印刷>

受注件数は年内納品の業務等で増加したが、年賀状関係の受注は年々減少傾向にある。

### 29. <岐阜県 印刷>

価格競争は下げ止まり傾向だったが、秋頃からまた始まった。収益が一層圧迫されている。

### 30. <滋賀県 印刷>

中旬までは年明けの新聞折込チラシや短納期の業務があり、多忙でも売上げは低調。また官公庁の見積もり依頼もあるが、厳しい入札価格の案件ばかりだ。

### 31. <徳島県 印刷>

先月に引き続き、売上げが減少する厳しい月となった。クリスマス等のイベントや年末年始休暇を前に特需が期待されたが、需要は低迷した。

### 32. <鹿児島県 印刷>

例年だと繁忙期だが、今年は景気が低調で動きが悪い。印刷業界も通販が売上げを伸ばしてきており、顧客がネットへ流れていることも原因の一つである。

## 化学・ゴム

### 33. <長野県 プラスチック製品>

成形品の売上げは前年同月比で若干増だったが、金型の売上げは不振。全体では約2%の増で推移。今後は成形品受注に傾注するも従来1月～3月期は低調期であり、苦戦する予想。

### 34. <東京都 ゴム製品>

11月までは一定の受注量を確保できたが、12月は減少。原油価格の上昇で原料の値上げも始まるため、今後は収益が圧迫されると予想している。

### 35. <京都府 プラスチック製品>

電子部品や精密機器等の受注は緩やかながら回復局面となっているが、その他多くは低迷したままで業種によって明暗が分かれている。

### 36. <奈良県 プラスチック>

円安状況が続くと原材料価格の値上げに直結してくる。為替動向が懸念材料。

### 37. <岡山県 ゴム>

原料である天然・合成ゴムはともに市況が上昇傾向となり、原料費が増加。売上げは計画を上回っているが、収益期待には結びついていない。

## 窯業・土石製品製造業

### 38. <秋田県 生コンクリート>

出荷量は前年同月並み。今後は本格的な冬場にさしかかり、数量減も予想されることから、各企業とも厳しい経営状況が予想される。

### 39. <東京都 セメント製品>

公共事業は低迷しており、東京オリンピック・パラリンピック関連の事業も特にない。

### 40. <長野県 砕石>

燃料の急な値上がりや売値に転嫁できない。工場経費や運搬コストがアップして収益が悪化。

### 41. <奈良県 鋳物>

業況は一昨年秋頃からどん底の状況であり、いまだ回復の基調は見えない。また直近でも原材料の価格が高騰し始めており、なお一層悪化している。

### 42. <徳島県 生コンクリート>

12月に入っても状況は変わらず、前年同月比で出荷量は減少。集約化やその他経費等の削減にも限界がある。特に山間部では経営が成り立たない状況になりつつある。

#### 43. <熊本県 コンクリート製品>

震災復興関連工事により、県庁所在地や周辺地区は前年度を上回って推移。ただし、公共工事減少の影響もあり、今後も先行きが不透明な状況が続くと予想される。

### 鉄鋼・金属製造業

#### 44. <茨城県 鍍金>

金属材料（銅、ニッケル、亜鉛等）は10～15%の値上がり傾向。燃料価格も上昇。

#### 45. <神奈川県 金属製品>

円安で材料費や燃料費の負担増。それに伴って企業利益が低迷。

#### 46. <石川県 一般機械器具>

米国経済の回復に期待。円安の進展を見込み、景気好転に期待している。一方で東南アジアを中心とした新興国市場の低迷が不安要素。受注量の削減や加工単価の低下もあり、操業度は幾分低下傾向にある。

#### 47. <大阪府 ダイカスト>

亜鉛の材料費が高騰。円安の影響と思われる。今後もアルミ等の値段上昇を懸念している。

#### 48. <広島県 鍍金>

燃料の高騰が続いており、特にコークスは秋から比べると燃料費が5割増しとなっている。

#### 49. <高知県 刃物・金物類>

まとまった受注があり、前年より売上げを少し伸ばしたが、職人不足で納品の遅延があり、得意先に迷惑をかけている。

#### 50. <福岡県 鋳鉄・鋳物>

前年同月比80～90%の操業率となり、残業無しの状況。材料費も5%程度上昇しており、受注減の状況が今後も続くと資金繰りも悪化して、さらに厳しい状況となる。

#### 51. <沖縄県 鉄鋼>

公共・民間工事ともに着工遅れの物件が動き出して景況は好転したが、依然として技術者不足は継続している。

### 一般機器製造業

#### 52. <栃木県 一般機械器具>

年末年始に対する駆け込み需要がほとんどなく、景気の高揚感等も感じられない。政府の景気対策の効果は何処へ行ったのかと疑いたくなる。

#### 53. <埼玉県 一般機械機器>

大型機械の受注は減少傾向だが、小型は東南アジアを中心に堅調に推移。しかし、大型機械の受注減少で収益は低下している。

#### 54. <山梨県 金属製品>

若干の好転が見られるも、円安による原材料・燃料価格の上昇や海外経済の低迷等から厳しい状況が続く見込み。

#### 55. <富山県 非金属用金型>

需要は鈍いが大手メーカーの生産予定が確定しつつあり、動きも出ている。ただし、メーカーの人材不足による開発計画の遅延が業況を低迷させる要因になっている。

#### 56. <京都府 一般機械器具>

年末に向けて多忙の企業もあるが、慢性的な人材不足から短納期対応に苦慮している。

#### 57. <兵庫県 一般機器>

受注量は年末需要で少し持ち直したが、依然として業況は厳しい。前年に比べて年末年始の休業日数が1、2日増えた企業が増加している。

58. <山口県 一般機械器具>

金型関係は3月頃までは順調な予想。海外工事関係の受注も好転してきている。

59. <徳島県 機械金属>

売上高や収益状況の改善に繋がるような変化が見られない。株高や円安にあっても、实体经济は低迷し、将来に対する先行き不透明感が依然強まっている。

### 電気機器製造業

60. <茨城県 電化機器>

生産高は自動車関連、特に電子部品の受注を主としている事業所が前年同月比30.1%増となった。一方、家電関連は依然として厳しく、受注は低調。

61. <群馬県 電気機械器具>

米国のトランプ次期大統領就任を控えて動向を注視しているが、国内・米国内ともに工場や設備投資を拡大する組合員が多数おり、今後にも期待している。

62. <長野県 電子機械器具>

年末で受注は増加し、特に自動車の新車種部品が動いている。他方、飲食旅館ホテル等のサービス業が不振である。

63. <山梨県 電気機械器具>

年末の需要拡大があり、仕事量が増加。

64. <広島県 電気機械器具>

年末需要と輸出関連で増産傾向。最低賃金が20円も上昇し、経営を圧迫。取引先に価格交渉をしているが、難航。さらに残業規制も厳しくなれば非常に苦しい状況となる。

### 輸送用機器製造業

65. <静岡県 輸送用機械器具>

自動車の新型モデル立ち上げ準備で一部の企業は忙しい。新モデルの販売増加による生産拡大に期待したい。

66. <富山県 自動車部分品・付属品>

売上高は主要取引先からの受注増により、全体で18.6%増加。収益状況は経費が増加したものの、売上高が増加したことにより不変。

67. <島根県 自動車部分品・付属品>

トランプ候補が米国大統領選挙に勝利して一気に円安が進み、自動車製造業にとっては追い風。輸出増による好転に期待。国内経済は低迷しており、景気の行方はひとえに米国次第だ。

68. <広島県 造船関連>

原材料の高騰により収益性が悪化。

69. <大分県 造船>

受注量は確保できているが、採算面は厳しい状況が継続。新規雇用も不調。

### その他の製造業

70. <愛知県 その他の製造業>

為替相場の影響で輸出向けの自動車生産が多少上昇傾向にある。

71. <福井県 眼鏡>

依然としてデフレ状況が継続。大手チェーンの業績は好調。円安による輸出増に期待。

## 《非製造業》

### 卸売業

#### 72. <北海道 各種商品>

靴履物は円安が急激に進んで仕入単価が上昇しているが、販売単価は下落。物流を自前化して経費を圧縮しても収益状況は厳しい。在庫の圧縮による資金化を進めている。

#### 73. <青森県 林檎>

県全体の12月末時点での在庫数量は前年比96%程度と予想されるが、在庫の中に良品物が少なく、仕入単価も前年より高いため、今後の販売も苦戦すると予想。

#### 74. <岩手県 野菜果実>

秋口からの天候不順の影響を引きずり、野菜類の入荷量が減少して単価高。また果実も長雨の影響で柑橘類の品質が全体的に低下。林檎等も正品率が低くギフト商材が高騰した。

#### 75. <福島県 再生資源>

古紙の市中回収は年末特需で増加したが、発生量は減少しており大幅増には至らず。また鉄スクラップ価格は高値で推移しているが、トランプ米国大統領の就任後、為替の動きによっては市況にも影響が出る。

#### 76. <神奈川県 料理材料>

外食業は大変に厳しい年末。円安で輸入食材の価格が上昇。油脂も値上げ決定の発表があり、人件費上昇や消費者の節約志向の高まり等から非常に厳しい状況。

#### 77. <滋賀県 食料品>

野菜は11月後半から作柄も回復し、秋冬物の出荷が始まって市況は軟調に転じたが、単価は前年同月比147%と大幅な高値。また柿・蜜柑・林檎等の秋果実は出荷減から価格が高騰して荷動きが停滞気味になり、全体的に品薄感が継続。

#### 78. <高知県 各種商品>

忘年会等の宴会商材も前年より低調。全体的に宴会件数が減少傾向にある。

#### 79. <福岡県 電設資材>

投資はトランプ次期大統領の動向次第とのことで様子見の状態。しかし、自動車部品メーカーは人手不足で苦心している。

#### 80. <鹿児島県 総合卸>

衣料品は暖冬の影響で低調。その他も全般的に横這い。消費マインドは低く、買い控え等から景気の回復感に乏しい。人員確保に伴うコスト増に加えて、急激な為替変動による仕入価格への影響も不安である。

### 小売業

#### 81. <青森県 燃料>

原油価格が高騰して卸価格も上昇しているが、価格転嫁が進まない状況に加えて暖冬少雪の影響で販売数量も減少しており、収益の確保が厳しい。

#### 82. <千葉県 各種商品>

元日営業が定着した一方、買いだめの習慣が無くなり、年末商戦が盛り上がり欠けてきた。

#### 83. <新潟県 スポーツ用品>

前年と同様、暖冬の影響でスキー場がオープン出来ず、冬物の動きは最悪。冬物は処分にも費用が掛かるために収益が悪く、毎年苦戦している。

#### 84. <山梨県 食料品>

年末年始で荷動きが活発となり、価格面は高値で推移して売上高も前年同124.5%と伸長したが、仕入価格も上昇していることから収益面は減少に転じた。

#### 85. <福井県 各種商品>

野菜や食品価格全体が値上がりして食料品を中心に売上高は堅調だが、ファッション、靴等の季節商品は小雪から前年割れ。また売場や接客の改善等への取り組みも人材不足で困難。

#### 86. <三重県 家電>

歳末セールを実施したが、来店・販売ともに低迷して販売量の確保が厳しい。他方、修理や点検作業だけは多い。年間を通じても厳しい結果になると思われる。

#### 87. <愛媛県 鮮魚>

前年同月比95%。12月の前年割れは初。年末商品カニ、鮭、イクラ、数の子等の高額商品が高騰したため、消費者の買い控えが大きい。

#### 88. <福岡県 食肉>

クリスマス・年末商戦ともに温暖な気候で鍋物需要が減退し、鍋物用食肉が苦戦。肉やハムのギフト販売も全体的に不振だった。

#### 89. <佐賀県 鮮魚>

例年12月に入ると正月商戦に動きがあるが、年末になっても動きが悪い。数の子やタラバガニ、ズワイガニの売れ行きが低迷。ノロウイルス発生の影響で生牡蠣も不振。また年々家庭で正月料理を作る慣習も減少傾向。

#### 90. <宮崎県 石油>

産油国の協調減産の合意や円安等により、原油価格が値上がりした。元売り会社からの卸価格も値上がりし、販売価格も上昇。年末の需要期に水を差す状況となった。

### 商店街

#### 91. <群馬県 前橋市>

お歳暮、年末商戦ともに低調で年末らしさが年々薄れてきている。また天候に左右されない大型ショッピングセンターの利便性にも容易には抗しがたいのが実情。

#### 92. <新潟県 加茂市>

暖冬・小雪もあり、冬物商品の動きが鈍い。歳末セールの売上げも前年より低下し、スタンプ売上げも低下した。景気は依然低迷したままである。

#### 93. <岐阜県 大垣市>

百貨店の売場面積が約2分の1に減少して以降、商店街に昼間訪れる買物客が減り、個人店も減少。通勤・通学の「通り道」化した。唯一、夜間だけ飲食客が駅前に集中している。

#### 94. <石川県 近江町>

お歳暮や正月用品等で前年並みの店舗もあったが、全体の売上高は減少。連休は地元客と観光客で賑わった。お節用食材は年々減少している。雪が少なく暖かい天候で来場者は多かったが、冬物衣料等の季節商品は低迷した。

#### 95. <兵庫県 豊岡市>

前月同様、年末のクリスマス商戦にも関わらず、一部衣料や飲食関連（忘年会等）を除いて売上げは低迷。各店ともセール等を開催しているが、相変わらず消費者の財布の紐は固い。ネット通販の普及も影響大。

#### 96. <山口県 山口市>

冬物の季節需要が多少あるが、大幅な売上げ増には至らず。野菜価格の高騰も影響して消費は低調。円安・石油製品の値上げもあり、先行きが暗い。

#### 97. <香川県 丸亀市>

例年、歳末・クリスマス等は「商戦」と呼ばれる需要期だったが、現在は無縁になってしまった。精肉や果物等の一部は多忙だったようだが、それでも往年のような勢いはない。正月用の花や餅も生活様式の変化等で売上げは不振である。

### サービス

#### 98. <岩手県 旅館>

宿泊を伴う忘年会が低調なことに加えて、雪不足からスキー場への客足も鈍っており、厳しい状況が続いている。

#### 99. <鳥取県 観光>

前月が鳥取県中部地震の影響で大幅に減少したため、売上高は前月比では増加となったが、前年同月比の売上高は減少しており、未だに地震の影響が続いている。

#### 100. <岡山県 建築設計>

大型物件の発注が無く、特に組合への発注数も激減。競争も激しくなり、低価格での受注となって経営的にも非常に厳しい。

#### 101. <香川県 美容業>

長期に渡る消費低迷に生活者の将来不安が重なり、節約志向が定着して売上減少に歯止めが掛からない。今後も一層の競争激化が危惧される。

#### 102. <愛媛県 造園>

年末需要はあっても受注件数は減少。無理な工期や低予算で仕事を断る場合や人手不足で他業種にも仕事を取られている。

#### 103. <高知県 飲食店>

例年は忘年会シーズンにも関わらず、宴会が非常に減っている。

#### 104. <大分県 広告>

年末需要の忙しさはあるが、販売価格は厳しく収益増は僅かである。

#### 105. <沖縄県 ホテル旅館>

外国人観光客は減少しているが、毎週末に開催されたイベント（NAHAマラソン、音楽ライブ等）で売上高は微増。しかし、雇用負担の増大に加えてノロウィルスへの対策も講じなければならず、収益確保と従業員のシフト調整に苦慮している。

### 建設業

#### 106. <青森県 管工事>

職人や若年技能工の確保が難しく、雇用条件の改善等自助努力を続けている。また人員不足で受注を控える企業も出ている。

#### 107. <宮城県 建設>

復旧・復興事業は道半ばの状況。県内全体では施工の最盛期が続いているが、需要が収束していく中で今後の事業量に大きな不安も抱えている。

#### 108. <埼玉県 鉄骨工事>

円安や原油高等の影響で材料の値上がりが始まった。製造原価において鋼材の割合が非常に大きいため、スムーズに価格転嫁が出来るか懸念がある。

#### 109. <岐阜県 管設備工事>

官庁関係の入札が増加傾向だが、技術者不足で入札が不調になることがある。

#### 110. <愛媛県 鐵構>

仕事はフル稼働の状況だが、ここにきて鋼材価格が上昇。輸入鉄鉱石・石炭の高騰を理由に鉄鋼メーカーも値上げを示唆している。年明け以降も円安の影響を注視する必要がある。

1 1 1. <福岡県 建築工事>

年末年始で多少は動きがあるが、公共工事は職人確保が困難なために工期変更届を提出する企業も出ている。

1 1 2. <沖縄県 建築工事>

公共・民間工事ともに動き始めて全体的に好転する見通し。また年度末に向けても需要増の見込みである。

運輸業

1 1 3. <栃木県 軽貨物自動車運送>

月初の荷動きが鈍く、中旬以降から多少活発化したが前年比では低調に推移。また人手不足と高齢化が深刻化している。

1 1 4. <群馬県 一般・軽貨物自動車運送>

23日からの3連休で車両不足になる事態もあったが、例年より年末の繁忙感は乏しく、全体的な荷動きは依然として低調。円安動向や運転手不足への不安も強まっている。

1 1 5. <三重県 トラック運送>

燃料価格が値上がりして収益を圧迫している。

1 1 6. <兵庫県 道路貨物運送>

軽油価格は大幅な円安と原油高に伴いメーカーから大幅な値上げ要求があった。取扱量は前月を上回ったが、年末の繁忙期でも荷動きは悪く、対前年同月比は91.2%と相変わらず低調。前年同月比マイナスの状態が継続している。

1 1 7. <和歌山県 一般貨物運送>

軽油価格は対前月比約2円の値上がり。今後も原油の減産や円安が進み、価格高騰が続けば経営の悪化を懸念。

1 1 8. <山口県 一般貨物自動車運送>

食品はクリスマス、年末商戦による荷物の増加が見込まれ、その他の季節案件・保管案件も増加。雇用人員は慢性的な不足が続いており、軽油も大幅に値上がりをしているために収益にも影響が出ている。

1 1 9. <長崎県 運送>

青果物が不作で商品不足となり、売上げは減少。また軽油も値上がりしており、損益が悪化してきた。引き続き、人手不足も深刻である。